

新たな仲間と地域を強化

地域おこし協力隊に新しく2人が着任

地域おこし協力隊の辞令交付式は4月1日、市役所で行われ、新たに隊員となる立川達也さん、金野利哉さんに田村正彦市長から辞令書が交付されました。

市主催のプログラミング講座スパルタキャンプに参加したことがきっかけで、移住を決めた2人。田村市長は「最大3年間の任期の中でしっかりと活動に励み、得意分野で市に新しい風を吹かせてほしい」と激励しました。横浜市出身で海外留学時に観光を学んだ立川さんは「SNSなどで情報を発信し、国内外の人が気軽に移住を体験できる施設の運営や宿泊施設の有効利用に携わりたい」と目標を述べました。また、一関市出身でJICA海外協力隊に参加した経験をもつ金野さんは「元消防士のノウハウを生かして、地域の災害対策の強化に注力したい」と意気込みを語りました。

3年度の地域おこし協力隊は、2人の加入により4人で活動していきます。主な活動内容は次の通りです。今後の活動は広報で毎月連載している「地域おこし協力隊だより」で紹介していきます。

- ▶吉田力さん＝オリンピックホストタウン事業に関する情報の発信、市民との交流イベントの企画など
- ▶吉田裕香さん＝移住定住情報(はちまんたい通信)サイトの運用、移住者などへの取材や記事作成、着物に関するイベント企画や交流など

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係(☎・内線1203)



(左から)吉田(裕)さん、吉田(力)さん、金野さん、立川さん



背筋を伸ばして前を見る伊藤さん(手前左)と田代くん

成長の節目晴れやかに

市内小・中学校で入学式

市内小・中学校の入学式は4月6日から8日にかけて行われ、小学校10校で140人、中学校4校で150人の新入生の学校生活がスタートしました。

4月7日に行われた柏台小の入学式では、新生活に期待を膨らませる児童2人が担任と体育館に入場。呼名に答える元気な声が体育館に響きました。

式が終わり、教室に戻った伊藤香歩さんは「はやく仲良しになってたくさん遊びたい」と田代壮汰くんを見てはにかみました。



まゆみの会が展示会を開き、約400点の手芸品を披露(2月28日~31日、県民の森・森林ふれあい学習館)



登校する児童一人一人に黄色い羽根を配り、春の交通安全を呼び掛け(4月12日、平笠小)



3年度市行政連絡員会議が開かれ、82人が出席(4月2日、松尾コミュニティセンター体育館)



旧コミセンの隣に一部移転した新しいコミセン

会議室などが利用可能に

平館コミセンの一部を移転

平館コミュニティセンターは4月14日、旧センターの隣に一部を移転し、大会議室などの利用を始めました。

同センターは施設の老朽化により4年3月の完成に向けて、2カ年で建設工事を進めています。

工藤弘光センター長は「今は新型コロナウイルスの影響もあり利用が減っているが、平館地域の多くの人に利用してもらえるように取り組んでいきたい」と抱負を述べました。



開通を祝い関係者らがテープカット

観光シーズンの幕開け

八幡平アスピーテライン開通式

八幡平アスピーテライン開通式は4月15日、松尾八幡平ビジターセンターで行われ、八幡平の観光シーズンの到来が告げられました。

悪天候のため開通は見送りとなり、式のみを実施。今季の雪壁の高さは、最大で約6.5mと例年並みで、雪の回廊は5月上旬ごろまで楽しめる見込みです。

田村正彦市長は「桜の開花と開通のタイミングが重なり良かった。開通を皮切りに、今年も四季折々の八幡平を体感してほしい」と期待を寄せました。

手厚い医療の一旦担う

市立病院に常勤の小児科医師着任

市立病院は4月1日、小児科の常勤医師として小田翔一小児科長を迎え、新たな体制での診療をスタートしました。

平成28年から30年まで小児科長として西根病院に勤務。異動により市を離れましたが、再度着任し、地域の小児科診療の推進を担います。

市立病院の小児科受け付けは、毎週月・水・木・金曜日の午前8時半から11時半まで、午後は2時から4時半までです。



気軽に受診や相談に来てほしいと笑顔で語る小田小児科長

地域社会の一翼を担う

市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式は4月5日、市役所多目的ホール棟で行われ、昇格者3人、新入団員8人それぞれに辞令書が交付されました。

工藤民一団長は新入団員に向け「各分団で早く消防団の活動に慣れ、火災が発生した際は尽力してほしい」と訓示しました。

新入団員を代表して畠山文聡さんは「消防団活動をきっかけに、地域行事にも積極的に参加したい」と抱負を述べました。



新入団員一人一人に辞令が手渡されました



田村正彦市長(中央)に作品を紹介する修了生

作り手の思いも伝えたい

漆の知識・技術を学び2人が基礎課程を修了

安代漆工技術研究センターの修了式は3月29日、安代総合支所で行われ、2年間の基礎課程を学んだ井上由希子さん(神奈川県横須賀市)と五木田英晶さん(滝沢市)の2人が修了証書を受け取りました。

基礎課程で漆に関する知識やわん類、盆類、乾漆などの制作技術を習得。修了式後に同支所と市役所本庁で、研修中に作製した作品の展示を行いました。

修了生の2人は「地元に戻り漆製品を作り手の思いと一緒に届けていきたい」と意欲を示しました。



同センターを背に、さらなる飛躍を期する利用者

起業の活性化図る新拠点

市起業家支援センターが大更駅前に移転

市起業家支援センターは3月26日、新岩手農業協同組合の事務所移転に伴い、旧市役所西根総合支所から大更駅西側に移転開所しました。

同センターは、(株)遠忠が建設し、市が借り受ける民設公営の施設。延べ床面積約210平方メートルで、1階に共有スペース、2階に個室事務所など6室を設けています。

県内初となる東京23区内から本社移転を決めた(株)MOVIMASの兒玉則浩代表取締役は「ここから県内、全国へと事業を発展させていきたい」と力を込めました。

すなっぶギャラリー



(一社)いわてドローン操縦士協会と災害・遭難時のドローン出動に関する協定を結ぶ(3月25日、市役所)



ルワンダ国立オリンピック組織委員会委員長とオンラインミーティングを実施(3月25日、市役所)



写真で市の魅力を発信する「ザ・ブラッドフォート」が写真展を開催(3月20・21日、市総合運動公園体育館)



防犯隊員や防犯協会、岩手警察署員ら約35人が防犯を呼び掛け(4月8日、ベルフ八幡平店)



災害時に発電機などの資機材供給を受ける協定を(株)レンタルのニッケンと結ぶ(3月25日、市役所)